

# 東北大学生のための 国際交流ガイドブック

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2016

世界中が、キャンパスだ！



# 国際交流と 留学のすすめ

Tohoku University  
Study Abroad  
Guidebook 2016



表紙  
(左)工学研究科 安田 陽さん ▶P20  
(中)法 学 部 駒宮 寛子さん ▶P17  
(右)工学研究科 田邊 陽子さん ▶P21

表紙裏  
(左)工学研究科 田邊 陽子さん ▶P21  
(右)理 学 部 代 友輝さん ▶P26

## Index

- 03** 東北大学からの留学  
大学間学術交流協定校・機関／海外留学プログラム留学までのロードマップ
- 09** 海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)  
プログラム概要／実施予定プログラム一覧／体験レポート
- 13** 交換留学プログラム  
プログラム概要／主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧／体験レポート
- 19** 大学院生派遣プログラム  
プログラム概要／体験レポート
- 24** 学部・研究科主催のプログラム  
プログラム概要／プログラム一覧
- 25** 海外体験プログラム/ショートプログラム  
プログラム概要／プログラム一覧／体験レポート
- 27** 留学のための各種サポート  
留学相談・情報収集／語学学習・試験
- 31** 学内で国際交流  
海外からの学生との交流／東北大生による国際交流活動団体
- 33** 国際交流・留学サポート  
奨学金情報／学内のサポートオフィス

東北から世界各国に広がる協定校ネットワーク。

東北大学では、数多くの世界トップレベル大学・機関との間に「学生交流協定」を締結し、本学独自のグローバルネットワークを構築しています。グローバルラーニングセンターでは、そのネットワークを活かし、さまざまな海外留学プログラムを展開し、海外で学ぶことができる体制を整えています。

大学間学術交流協定機関

34の国と地域、205大学・機関 (2016年2月現在)

欧州地域

フィンランド

アアルト大学  
オウル大学  
タンペレ工科大学

スウェーデン

ウーメオ大学  
スウェーデン王立工科大学  
ウプサラ大学  
ストックホルム大学  
チャルマース工科大学

イギリス

ヨーク大学  
シェフィールド大学

オランダ

グローニンゲン大学  
トゥウェンテ大学  
デルフト工科大学

イタリア

フィレンツェ大学  
トリノ工科大学  
ナポリ大学  
ペローナ大学  
ミラノ工科大学

スイス

スイス連邦工科大学(2校)  
・ローザンヌ校  
・チューリッヒ校  
ジュネーブ大学

オーストリア

ウィーン大学

ドイツ

アーヘン工科大学  
ドルトムント大学  
ザールラント大学  
ダルムシュタット工科大学  
ゲッティンゲン大学  
ドレスデン工科大学  
ベルリン工科大学  
ミュンヘン工科大学  
カールスルーエ工科大学  
カイザースラウテルン工科大学  
ハイデルベルク大学  
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ  
バーダーボーン大学  
ケムニッツ工科大学

フランス

ピエール・マリイ・キュリー大学  
レンヌ第2大学  
グルノーブル大学  
ストラスブール大学  
レンヌ第1大学  
The Global Education for European Engineers and Entrepreneurs(GE4)  
国立応用科学院リヨン校  
ポルドー第1大学  
国立中央理工学校(Ecole Centrale)(5校)  
・リール校 ・ナント校  
・リヨン校 ・パリ校  
・マルセイユ校  
アルピニエ大学  
リヨン政治学院  
リヨン高等師範学校  
エコール・ポリテクニク  
リヨン第2大学  
コンピエニエ工科大学  
サンテティエンヌ国立高等鉱山学校  
ポルドー工科大学

スペイン

グラナダ大学  
バリャドリッド大学

中近東地域

トルコ

イスタンブール工科大学

イラン

テヘラン大学

NIS地域

ロシア

モスクワ国立大学  
ノボシビルスク国立大学  
ニジネゴロド国立大学  
極東連邦大学  
ロシア国立高等経済学院(HSE)  
サンクトペテルブルク国立総合大学

ウクライナ

ウクライナ国立工業大学“キエフ工科大学”

アフリカ地域

モロッコ

ムハンマド5世大学-アグダル

南アフリカ共和国

クワズールー・ナタール大学

北米地域

カナダ

ウォータールー大学  
オタワ大学

アメリカ

ペンシルベニア州立大学  
カリフォルニア大学(9校)  
・バークレー校  
・デビス校  
・アーヴァイン校  
・ロサンゼルス校  
・マーセド校  
・リバーサイド校  
・サンディエゴ校  
・サンタバーバラ校  
・サンタクルス校  
パデュー大学  
アラスカ大学  
コロラド鉱山大学  
シラキュース大学  
国際教育協会(IIE)  
テンブル大学  
テキサスA&M大学  
ハワイ大学マノア校  
ニューヨーク州立大学オールバニー校  
ワシントン大学  
ノースカロライナ大学シャーロット校  
ケースウェスタンリザーブ大学  
ミシガン州立大学

中南米地域

ベネズエラ

シモン・ボリバル大学

太平洋地域

オーストラリア

シドニー大学  
ニューサウスウェールズ大学  
オーストラリア国立大学

ニュージーランド

オークランド大学

アジア地域

インド

インド工科大学ボンベイ校  
インド科学大学

タイ

アジア工科大学院  
スラナリー工科大学  
キングモンクット工科大学ラカパン校  
チュラロンコン大学  
タマサート大学  
チェンマイ大学  
キングモンクット工科大学トンブリ校  
泰日工業大学

シンガポール

シンガポール国立大学

インドネシア

インドネシア大学  
ガジャマダ大学  
バンドン工科大学  
ボゴール農科大学  
ブラウイジャヤ大学  
パジャジャラン大学

韓国

全北大学校  
ソウル大学校  
光州科学技術院  
釜慶大学校  
浦項工科大学校  
韓国科学技術院  
忠南大学校  
慶北大学校  
嶺南大学校  
東義大学校  
朝鮮大学校  
高麗大学校  
国立昌原大学校  
西江大学校  
延世大学校  
釜山大学校  
国立公州大学校  
中央大学校  
慶熙大学校  
成均館大学校  
国民大学校

モンゴル

モンゴル科学技術大学

スリランカ

モラトゥワ大学

ベトナム

ベトナム国立大学ハノイ校  
貿易大学  
ホーチミン市工科大学

中国

東北大学  
中国科学技術大学  
清華大学  
南京大学  
北京大学  
吉林大学  
浙江大学  
復旦大学  
武漢理工大學  
重慶大学  
同濟大学  
中国海洋大学  
北京科技大学  
南京航空航天大学  
廈門大学  
華中科技大学  
西安交通大学  
華東師範大学  
北京航空航天大学  
蘭州大学  
天津大学  
大連理工大学  
揚州大学  
東南大学  
上海交通大学  
北京工業大学  
北京郵電大学  
香港科技大学  
上海海洋大学  
中国地質大学(武漢)  
香港城市大学  
東北財経大学  
上海大学

台湾

国立台湾大学  
国立台湾海洋大学  
国立中正大学  
国立成功大学  
国立交通大学  
国立中興大学  
国立清華大学  
国立政治大学  
東吳大学  
国立中央大学

マレーシア

マラヤ大学

部局間交流協定機関 48の国と地域・394機関 (2016年2月現在) ※協定機関の詳細はホームページをご覧ください。

・大学間学術交流協定機関一覧:東北大学HP▶国際交流▶学術交流協定締結校(大学間協定) <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokusai/exchangej/scientific/f2-1.html>  
・部局間学術交流協定機関一覧:東北大学HP▶国際交流▶学術交流協定締結校(部局間協定) <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokusai/exchangej/scientific/f2-2.html>

※本ガイドブックでは、一部の国・地域について、一般的に使われている呼称と旗を慣習に従い使用しています。

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部・研究科主催のプログラム

シヨトウプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

学びの目的や期間など、  
希望に合わせて選べる、  
多様な海外研修・  
留学プログラムがあります。



### 海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP) ▶ P09-12

海外に行くのが初めての方、長期留学をためらっている方、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身につけておきたい方、専門分野を海外で学びたい方などのさまざまな要望に応えるプログラムです。学期末の休みを利用した短期間の研修ですので、授業への影響や留年の心配はありません。内容はプログラムによって異なりますが、現地学生や留学生との交流なども盛り込んでおり、学期末の休みを有効に使うことができます。

派遣地域・大学	アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、タイ、ベトナム、インドネシア、台湾、オーストラリアなどの教育機関
期間	2~5週間(夏・春)
参加対象	全学部・研究科の学生(学部生優先)

### 大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム ▶ P13-18

SAP、海外体験プログラムを経験し、より長期にわたる留学を目指す方や、語学学習だけでなく、自分の専門について海外の大学で学びたい方向けの海外留学制度です。留学先は、世界中の協定校から選ぶことができます。

派遣地域・大学	34の国と地域・205校(▶ P03-04)
期間	1学期~1年間
参加対象	全学部・研究科の学生

### COLABS(自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム) ▶ P19-20

自然科学系の研究科に所属する大学院生(または進学見込みの学部生)で、海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたいなど、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。留学期間は、最短10日間から、最長1年間までです。大学院での研究スケジュールにあわせて時期や期間、留学先を選ぶことができます。

派遣地域・大学	主に大学間協定機関または部局間協定機関
期間	10日~1年間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む (6年制課程の学部については5年生以上)

### COLABS特別プログラム ▶ P19

カリフォルニア大学デビス校およびワシントン大学などで行われる特別プログラムです。派遣先大学の教員から自身の研究成果について指導・助言を受けながら、学術的な場での発表に錬成するワークショップを中心に、現地学生との交流、企業訪問などを含めた文化交流も行います。このワークショップを核とした研究交流は、将来の共同研究やより長期の共同研究留学などに発展する可能性があります。

派遣地域・大学	カリフォルニア大学デビス校 ワシントン大学 他
期間	2週間~5週間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む (6年制課程の学部については4年生以上)

### ダブルディグリー(共同教育)プログラム ▶ P21-22

ダブルディグリー(共同教育)プログラムは、フランス、スウェーデン、または中国のトップクラスの提携校と本学に在籍し、提携校における修士レベルの学位および本学の修士号の取得を目指すプログラムです。理工系の分野で、国際的環境のもと、研究者としての力や国際性を伸ばすことが期待できます。

派遣地域・大学	フランス	国立中央理工学校(Ecole Centrale)5校 国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)
	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学
派遣地域・大学	中国	清華大学
	期間	1年半程度
参加対象	一部の自然科学系研究科の 博士前期課程に進学予定の学生 (派遣先により対象研究科が異なる)	

### UCB大学院生派遣プログラム ▶ P23

研究・教育ともに世界トップレベルであるカリフォルニア大学バークレー校(UCB)への大学院生派遣プログラムです。UCBの研究室で、研究活動や論文執筆を行うことが可能です。海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたいなど、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。

派遣地域・大学	アメリカ カリフォルニア大学バークレー校
期間	1学期~1年間
参加対象	全研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む

### 上海交通大学との Fostering of Global Human Resources プログラム

大学院学生を対象とした、中国でもトップクラスの上海交通大学に交換留学または学位留学するプログラムです。専門知識や研究能力だけでなく、世界の中心となりつつあるアジアにおいて活動する総合的な力の養成が期待できます。本プログラムの参加者には留学期間中、上海交通大学から奨学金が支給されます。

派遣地域・大学	中国 上海交通大学
期間	交換留学:1学期~1年間 学位留学:2~3年
参加対象	全研究科の大学院生

### 学部・研究科主催のプログラム ▶ P24

### 海外体験プログラム/ショートプログラム ▶ P25-26

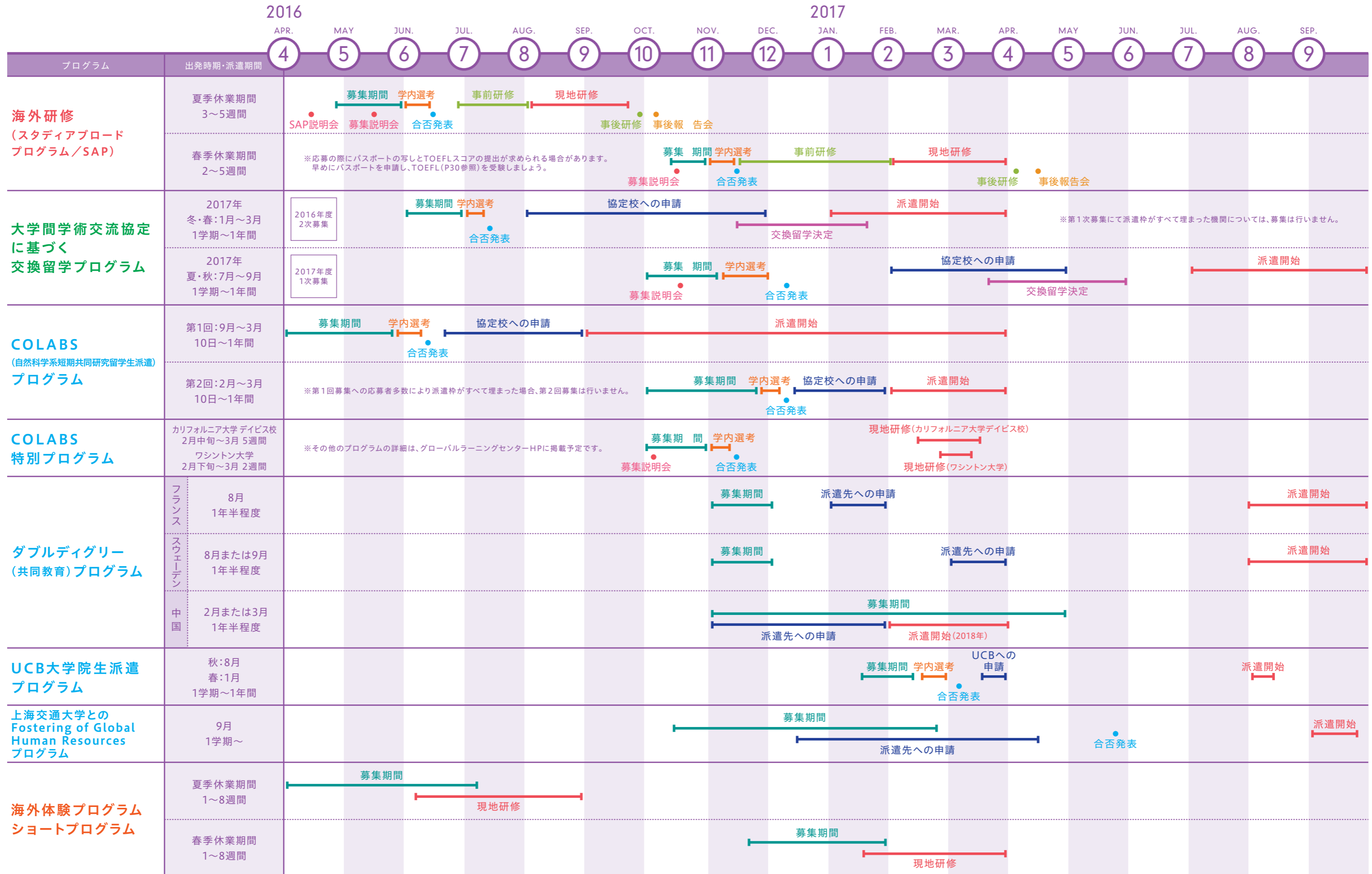
半年や1年間の留学は難しい、という方には、本学の協定校等が主催する短期のプログラムがおすすめです。さまざまなプログラムの中から、自分にぴったりのものを見つけてください。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした、 世界各国の大学 (主にアジア圏)
期間	海外体験プログラム:2週間程度以上 ショートプログラム:1~8週間
参加対象	プログラムにより異なる

自然科学系研究科

理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、  
情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科

希望のプログラムが見つかったら、さっそく準備を始めましょう。



東北大学からの留学  
海外研修(SAP)  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
海外体験プログラム  
留学のための各種サポート  
学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

## 海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)

スタディアブロードプログラム(SAP)は、長期休業(春・夏)を利用して、語学力を磨き、アカデミックスキルを高めることを目的とした海外研修プログラムです。参加学生は、プログラムのテーマに沿った体験学習や、特色ある英語講座に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに現地学生やコミュニティーメンバーとの交流、ホームステイなど、日本では得られない貴重な体験を通じて、語学の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を育むことが期待できます。

### 2016年度実施予定プログラム一覧

#### 異文化理解体験プログラム(海外初心者向け)

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	*難易度	研修内容
カリフォルニアで学ぶ多文化・多民族社会	【アメリカ】カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)	夏および春 【4週間】	ホームステイ	☆ ★	●ロサンゼルスに近いリバーサイド市での研修 ●英語研修及び関連する場所へのサイトビジット ●現地学生との交流
ハワイで学び体験する文化と環境問題	【アメリカ】ハワイ大学マノア校(UHM)	夏 【3週間】	ホームステイ	☆ ★	●ハワイの環境問題をテーマとした講義 ●フィールドトリップ、ボランティア活動 ●ホームステイを通じた、ハワイ家庭の生活・文化体験および英語力の向上
マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化	【マレーシア】マラヤ大学	夏 【3週間】	学生寮	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	●実践的な英語力を身につけるための研修 ●マレーシアの歴史・社会・文化を学ぶ授業 ●現地学生および他国からのコース参加留学生との交流
台湾で学ぶ中国語と文化	【台湾】国立政治大学	春 【3週間】	専用宿舎	☆ ★★	●台湾の名門、国立政治大学での研修 ●中国語研修および文化体験やフィールドワーク ●市内観光や社会問題などのディスカッションなどを通じた現地学生との交流

#### 海外でテーマ学習に取り組むプログラム(英語でしっかり学びたい学生向け)

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	*難易度	研修内容
ベトナムで学ぶ文化と産業発展	【ベトナム】貿易大学(FTU)	夏 【3週間】	ホテル	☆☆ ★★★	●ベトナムの社会科学系でトップクラスの大学である貿易大学での研修 ●日系企業訪問や文化体験、世界遺産へのフィールドトリップ ●FTUの学生との交流
タイで学ぶ文化と産業発展	【タイ】チュラロンコーン大学	春 【3週間】	学生寮	☆ ★★★	●タイのトップクラスの総合大学での研修 ●アジアの中でも経済成長が進み、日系企業も多く進出しているタイの産業構造やビジネス文化についての英語授業 ●チュラロンコーン大学生、タイで働く東北大学卒業生との交流、企業訪問



奨学金情報	●6~8万円の奨学金(派遣先により異なる)が支給される可能性あり。 ●学部生に限り、1プログラム当たり平均20万円/名のプログラム費を、東北大学が負担。
派遣地域・大学	アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、タイ、ベトナム、インドネシア、台湾、オーストラリアなどの教育機関
期間	2~5週間(春・夏)
参加対象	全学部・研究科の学生(学部生優先)

#### 海外で目的を持って活動に取り組むプログラム(アクティブに体験したい学生向け)

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	*難易度	研修内容
アメリカで体験する市民ボランティア	【アメリカ】カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)	夏 【3週間】	ホームステイ	☆☆ ★★	●語学研修と、実習先でのボランティア活動を通じて、アメリカの環境・福祉問題について考える ●アメリカの自然保護精神やボランティア文化への理解を深めるボランティア活動 ●現地学生やホストファミリーとの交流、フィールドトリップなど
フランスの文化探求プログラム	【フランス】国立応用科学院リヨン校 国立中央理工学校リヨン校 -Early-bird Discover Lyon School-	夏 【3週間】	学生寮 ホテル	☆☆☆ ☆☆☆ ★★	●講義とフィールドワークを通じて、プロジェクトに取り組む理系・文系の複合プログラム ●1週目は、フランス語研修。2週目は、プロジェクト学習やプレゼンテーションを行いテーマへの理解を深める ●現地学生との交流
インドネシアで学ぶ文化と国際ビジネス	【インドネシア】インドネシア大学	春 【4週間】	専用宿舎	☆☆ ★★★	●インドネシアの文化やビジネスを英語で学ぶ授業 ●基礎インドネシア語の実践的講座 ●現地日系企業(イオン・インドネシア)主導によるインドネシア大生との共同インターンシップ

#### 交換留学準備のためのプログラム(実践的な英語力の向上を目指す学生向け)

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	*難易度	研修内容
オーストラリアで学ぶアカデミック・イングリッシュ	【オーストラリア】ニューサウスウェールズ大学	夏および春 【5週間】	ホームステイ	☆☆☆ ☆☆☆ ★	●英語圏の大学で学習する準備となる実践的な英語力のトレーニング ●自身のレベルに合ったクラスで学ぶことができる語学研修 ●ニューサウスウェールズ大学の講義を聴講
ニュージーランドで学ぶ実践英語とIELTS対策	【ニュージーランド】オークランド大学	夏 【4週間】	ホームステイ	☆☆ ★	●自身に合ったクラスで世界各地から集まる学生と共に学ぶ実践的英語研修(前半2週間) ●東北大学生のために準備されたIELTSの試験対策講座(後半2週間) ●現地学生と交流
カリフォルニアで学ぶ実践英語	【アメリカ】カリフォルニア大学サンディエゴ校	春 【4週間】	短期滞在 シェアアパート	☆☆☆ ☆☆☆ ★	●カリフォルニア南部、メキシコに隣接する都市・サンディエゴの名門校での研修 ●自身のレベルに合ったクラスで多国籍の学生とともに学ぶ英語研修 ●現地学生(Conversation Leader)との会話を通じたコミュニケーションスキルの向上
カナダで学ぶ実践英語	【カナダ】サイモンフレーザー大学	春 【4週間】	ホームステイ	☆☆ ★	●日常的に必要なアカデミックイングリッシュスキル強化する英語研修 ●カナダ学や異文化間コミュニケーションについて学ぶ授業 ●サイモンフレーザー大学で日本語を学ぶ学生との交流
カナダで学ぶ英語と文化体験	【カナダ】ウォータールー大学	夏 【4週間】	ホームステイ	☆ ★	●日常的に必要な英語力を強化するための研修 ●英語イメージ教育を通じて学ぶ授業 ●ウォータールー大学で日本語を学ぶ学生との交流
イギリスで学ぶ実践英語	【イギリス】シェフィールド大学	春 【4週間】	ホームステイ	☆☆☆ ☆☆☆ ★	●自身のレベルにあったクラスで4スキル(読む、聞く、書く、話す)を集中して学ぶ英語研修 ●多国籍の学生と共に取り組む授業内および課外活動で国際交流 ●ホームステイ通じたイギリス生活・文化体験及び英語力向上
イギリスで学ぶ英語と文化	【イギリス】ヨーク大学	春 【4週間】	ホームステイ	☆ ★	●IELTS受験対策講座と現地でのIELTS受験 ●基礎から実践的なレベルまで高める集中英語研修 ●授業やホームステイを通じたイギリス文化体験および働き続けるための力についての授業

※上記は平成28年2月現在の情報であり、変更の可能性がございます。詳細は、5月(夏プログラム)と10月(春プログラム)にグローバルラーニングセンターHPIに掲載予定です。  
※学生1人当たりの自己負担金額(渡航費、滞在費、海外旅行保険、ビザ取得料など)は、20万円から40万円程度で、プログラムにより異なります。

\*難易度 ☆:英語運用力 ★:異文化適応力

## ニュージーランドで学ぶ実践英語とIELTS対策



派遣国 ニュージーランド  
派遣大学 オークランド大学  
開催期間 2015年8月31日～9月26日

SAPで得た貴重な経験を通じて、英語への意識が大きく変わりました。

農学部  
学部1年(SAP参加時)  
菊池 あゆみさん



### 新鮮な刺激にあふれた大学での授業

前半の2週間はさまざまな国の留学生とともに、自分のレベルに合ったクラスで勉強しました。ディスカッションなど、考えながら自分の意見を相手と交換し合うような機会が多くありました。日本では学生は積極的に手をあげたり発言したりしないので、進んで自分の考えを英語で話す周りの学生にとっても刺激を受けました。このプログラムでは最終日にIELTSというスピーキング・リスニング・リーディング・ライティングの4つからなるテストを受けることになっていたのですが、後半の2週間は東北大生で構成されたクラスでIELTS対策の授業を受けました。私は特に、アカデミックエッセイを書くという授業を通してライティングの力がついたことを実感できました。

### 豊かな国・ニュージーランドでの生活

高校生の時から海外へのあこがれと異文化に触れたいという気持ちがあり、今回SAPに参加することを決めました。数ヶ月前からしっかり事前準備をしていましたが、実際行ってみると初めは英語が全然聞き取れず、また独特ななまりがあり、その点では苦労しました。しかし、ニュージーランドは自然豊かでありながら中心部は栄えていて、治安も比較的良い国なので、初めての海外でもあまり不安になることなく生活できました。週末・放課後のクラスメートやホストファミリーとの交流を通じて、言語はもちろん、その国の歴史や文化についても学ぶことができました。

### 海外で得た体験を活かす

SAPIはあくまでもこれから先の長期留学や英語学習のきっかけだと思います。確かに、少しは語学力もつきましたが、それ以上に得られるものが多くありました。私は今回を機にもっと英語を話せるようになり、将来の仕事にも英語を活かしたいと思いました。そのような英語に対する意識は、SAPに行く前とかなり変わりました。重要なことは、これから大学生活の中でどのようにこの体験を活かしていくか、だと私は思います。



### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床	登校			授業			昼食		観光		帰宅	宿題	夕食		自由時間			就寝	

## ベトナムで学ぶ産業と社会



派遣国 ベトナム  
派遣大学 貿易大学  
開催期間 2015年8月17日～9月4日

留学先での経験が、今後の人生の選択肢を増やしてくれました。

文学部 人文社会学科  
学部1年(SAP参加時)  
千葉 喬馬さん



### SAP参加のきっかけと目的

参加のきっかけは、海外生活を経験して視野を広げ、今後の人生の糧にしたというのもありましたが、ベトナムに行ってみようという純粋な気持ちの方が大きかったと思います。参加が決まったら、具体的な目標として、英語のリスニング力の強化とベトナムで友達を作ることあげました。さらに、ベトナムの急速な発展の要因はどんなところにあるのかを知ることが目標としました。

### 多くのことを学んだベトナムでの体験

このプログラムでは、異文化理解や現地の学生との交流、ベトナムで名高い貿易大学で授業を受けること、日系企業への訪問、一般家庭でのホームステイなどができ、非常に充実した毎日でした。ベトナムを肌で感じるフィールドワークが多く用意されていて、ほぼ毎日どこかに出かけていました。世界遺産のハロン湾やサパへ行ったり、伝統衣装のアオザイを着て記念撮影をしたりと、ここでしかない体験を数多くしました。授業はベトナム語から伝統や文化、経済の現状までさまざまな内容が展開され、どれも興味深いものばかり。何よりも先生方の授業づくりがすばらしく、ゲーム形式を多く取り入れたり、私たちが積極的に参加する機会をつくってくださいました。すべての授業は英語で進められ、発言するときも英語なので英語を話さずにはいられません。日本ではなかなかない状況を味わい、「英語は道具である」と身をもって感じました。

今回の滞在を通して、自分の英語能力や日本についての知識が不足していることを痛感しました。また、これまで将来の進路として漠然とマスコミを志望していたのですが、海外で働くという選択もあると考えるようになりました。

### SAPに少しでも興味がある方へ

大学の間に海外に出てみたい方にとって、SAPはその第一歩として最適なプログラムだと感じています。観光では一國に長く滞在することは難しいですが、充実した提携校のハイレベルな授業が受けられ、留学生たちと深い交流ができ、安心できる滞在先で研修に集中することが可能なのはSAPならではでしょう。海外自体が初めてという方でも同じ東北大生が大勢参加するうえ、事前・事後の研修を含めサポートがしっかりしているので心配なく参加できます。もちろん今後長期の交換留学などを考えている方でも、目的別のプログラムが豊富に用意されているので物足りなさを感じることもないと思います。ぜひ皆さんもこのプログラムを使って海外へ飛び出してみてください。

### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
	起床・朝食	登校		授業		昼食		フィールドワーク					ホテル到着・夕食		自由時間			就寝	



## 大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

東北大学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期または1年間留学する制度です。本学の学部学生および大学院生を対象としています。東北大生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生とともに専門教育を学びます。それだけでなく、課外活動などを通じて日本にいては得られないさまざまな経験を積むことができる制度です。

### Merit 01

### 単位互換の可能性

留学期間も休学する必要はなく、東北大学の在籍期間としてカウントされます。また、留学先の大学で取得した単位を東北大学の単位として認定することも可能<sup>※</sup>です。そのため、1学期または1年間にわたって留学した場合でも、留年せずに卒業できる可能性があります。

※履修予定の授業の単位互換については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

### Merit 02

### 授業料免除

多くの大学との協定において、留学先の大学は交換留学生から授業料を徴収しないことを定めています。ただし、留学期間中も東北大学に授業料を納める必要があります。また、一部の大学では授業料を徴収されます。

### 学内の募集時期と応募条件(予定)

#### 募集時期

6月と10月 ※但し、協定校への申請締切は異なります。

#### 語学要件

応募に当たり、各協定校に語学要件の定めがある場合は学内応募の時点でその基準を満たす必要があります。定めがない場合、英語で授業を受ける予定の学生は、応募時点でTOEFL ITP500以上あることを条件とします。英語以外の言語で授業を受ける場合は、語学検定試験などにより、「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」に照らし、A2相当を取得していることを条件とします。

#### 派遣地域・大学

34の国と地域・205校 ※学生交流協定締結機関のみ(▶ P03-04)

#### 期間

1学期～1年間

#### 参加対象

全学部・研究科の学生

#### 奨学金情報

各種奨学金の応募が可能(▶ P33)

### [申請から渡航までの流れ]

※時期は P07-08 参照

#### 学内応募

1次募集:10月上旬～11月上旬  
2次募集:6月上旬～6月下旬

#### 学内選考

1次:書類選考  
2次:面接選考

#### 留学内定

#### オリエンテーション

参加必須

#### 留学先への申請

#### 渡航準備

査証取得、海外旅行保険加入など

#### 留学開始(渡航)



## 過去5年間で留学者数が多い大学

 アメリカ <b>カリフォルニア大学</b> University of California ・バークレー校 ・デビス校 ・アーヴァイン校 ・ロサンゼルス校 ・リバーサイド校 ・サンディエゴ校 ・サンタバーバラ校 ・サンタクルス校 ・マーセド校	<b>指導言語</b> 英語 <b>学年暦</b> バークレー校、マーセド校:①8月～12月 ②1月～5月 その他:①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80～83, IELTS 6.5～7.0
 スウェーデン <b>ウプサラ大学</b> Uppsala University	<b>指導言語</b> スウェーデン語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～1月 ②1月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500(学内条件)
 フィンランド <b>オウル大学</b> University of Oulu	<b>指導言語</b> フィンランド語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～12月 ②1月～5月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500(学内条件)
 シンガポール <b>シンガポール国立大学</b> National University of Singapore	<b>指導言語</b> 英語・(中国語) <b>学年暦</b> ①8月～12月 ②1月～5月 <b>成績条件</b> GPA 3.0/5.0 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500(学内条件) 法学部はTOEFL iBT 100, IELTS 6.5
 スウェーデン <b>スウェーデン王立工科大学</b> KTH Royal Institute of Technology	<b>指導言語</b> スウェーデン語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～1月 ②1月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500(学内条件) <b>その他条件</b> School of Architectureへの交換留学は不可
 スウェーデン <b>ストックホルム大学</b> Stockholm University	<b>指導言語</b> スウェーデン語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～1月 ②1月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL iBT 79, IELTS 6.0
 スイス <b>スイス連邦工科大学 チューリッヒ校</b> The Swiss Federal Institute of Technology, Zurich	<b>指導言語</b> ドイツ語・英語 <b>学年暦</b> ①9月～12月 ②2月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) ただし、TOEFL iBT 80 (Spoken min. 18), TOEFL ITP 550, IELTS 5.5が強く推奨される
 中国 <b>清華大学</b> Tsinghua University	<b>指導言語</b> 中国語・英語 <b>学年暦</b> ①9月～1月 ②2月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当の中国語能力(学内条件)
 台湾 <b>国立台湾大学</b> National Taiwan University	<b>指導言語</b> 中国語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～1月 ②2月～7月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当の中国語能力(学内条件)
 ドイツ <b>パーダーボーン大学</b> University of Paderborn	<b>指導言語</b> ドイツ語・英語 <b>学年暦</b> ①10月～2月 ②4月～7月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件)
 フランス <b>リヨン第2大学</b> Université Lumière Lyon 2	<b>指導言語</b> フランス語・英語 <b>学年暦</b> ①9月～1月 ②1月～6月 <b>語学条件</b> CEFR A2 相当のフランス語能力(学内条件)
 アメリカ <b>アラスカ大学 フェアバンクス校</b> University of Alaska Fairbanks	<b>指導言語</b> 英語 <b>学年暦</b> ①9月～12月 ②1月～5月 <b>語学条件</b> TOEFL iBT 70 (65以上で応募は可能だが、集中英語授業科目を一つ受講する必要がある)
 スウェーデン <b>ウメオ大学</b> Umeå University	<b>指導言語</b> スウェーデン語・英語 <b>学年暦</b> ①8月～1月 ②1月～6月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500(学内条件)
 ドイツ <b>ゲッティンゲン大学</b> University of Göttingen	<b>指導言語</b> ドイツ語・英語 <b>学年暦</b> ①10月～2月 ②4月～7月 <b>語学条件</b> TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件)

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切などについては、年度ごとに変更される可能性がありますので、必ず各大学のHPなどで確認してください。  
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。  
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は6月頃に行う予定です。



※ プログラム担当教員が推奨する大学

 <b>タイ</b> チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	指導言語 英語・タイ語 語学条件 TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 79, IELTS 6.0 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>インドネシア</b> インドネシア大学 University of Indonesia	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 TOEFL iBT 79, TOEFL ITP 550, IELTS 5.0 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>インドネシア</b> ガジャマダ大学 Gadjah Mada University	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 TOEFL iBT 61, TOEFL ITP 500, IELTS 5.5 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～2月 ②2月～7月
 <b>韓国</b> ソウル大学校 Seoul National University	指導言語 韓国語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当の韓国語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
 <b>ベトナム</b> 貿易大学 Foreign Trade University	指導言語 ベトナム語・英語 語学条件 TOEFL iBT 65, IELTS 5.5, TOEFL ITP 605 成績条件 GPA 2.8/4.0 学年暦 ①8月～12月 ②1月～6月
 <b>中国</b> 香港科技大学 The Hong Kong University of Science and Technology	指導言語 英語・中国語(一部コースのみ) 語学条件 TOEFL iBT 79, IELTS 6.0 成績条件 GPA 2.7 学年暦 ①9月～12月 ②2月～5月
 <b>中国</b> 香港城市大学 City University of Hong Kong	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 79, IELTS 6.5 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>台湾</b> 国立政治大学 National Chengchi University	指導言語 中国語・英語 語学条件 TOEFL iBT 79～80, IELTS 6.0, TOEFL ITP 550 成績条件 GPA 2.5 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>オーストラリア</b> シドニー大学 University of Sydney	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 85 (Writing 19, その他各セクション17), IELTS 6.5 (各6.0) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①7月～11月 ②3月～6月
 <b>オーストラリア</b> ニューサウスウェールズ大学 University of New South Wales	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 90 (Writing 23, Reading, listening, speaking 22), IELTS 6.5 (各6.0) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①7月～12月 ②3月～7月
 <b>ニュージーランド</b> オークランド大学 The University of Auckland	指導言語 英語 語学条件 学部: TOEFL iBT 80 (Writing 21), IELTS 6.0 (各5.5) 大学院: TOEFL iBT 90 (Writing 21), IELTS 6.5 (各セクション6.0) 成績条件 GPA 2.0 学年暦 ①7月～11月 ②3月～6月
 <b>アメリカ</b> ワシントン大学 The University of Washington	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 83 IELTS 7.0 その他条件 工学研究科・情報科学研究科・環境科学研究科・医工学研究科の学生のみ申請可 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月
 <b>アメリカ</b> パデュー大学 Purdue University	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 79 (speaking 22) IELTS 6.5 (speaking 6.0) その他条件 原則学部生のみ申請可 大学院生は留学生課に要問合せ 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>アメリカ</b> ハワイ大学 マノア校 University of Hawaii at Manoa	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 68, TOEFL ITP 520, IELTS 6.0 ※大学院生はITPの使用不可 成績条件 GPA 2.5 (院3.0) 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>アメリカ</b> ニューヨーク州立大学 オルバニー校 University at Albany, State University of New York	指導言語 英語 語学条件 TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 79, IELTS 6.0 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切などについては、年度ごとに変更される可能性がありますので、必ず各大学のHPなどで確認してください。  
※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。  
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は6月頃に行う予定です。

 <b>アメリカ</b> ノースカロライナ大学 シャーロット校 University of North Carolina at Charlotte	指導言語 英語 語学条件 TOEFL ITP 500 (学内条件) 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>イギリス</b> ヨーク大学 The University of York	指導言語 英語 語学条件 学部ごとに異なるため要確認 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月
 <b>イギリス</b> シェフィールド大学 The University of Sheffield	指導言語 英語 語学条件 学部ごとに異なるため要確認 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
 <b>オランダ</b> グローニンゲン大学 University of Groningen	指導言語 オランダ語・英語 語学条件 学部ごとに異なるため要確認 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>ドイツ</b> ドルトムント大学 University of Dortmund	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 <b>ドイツ</b> ミュンヘン工科大学 Technische Universität München	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 <b>ドイツ</b> ハイデルベルク大学 University of Heidelberg	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 <b>ドイツ</b> ヨハネスグーテンベルク大学 Johannes Gutenberg University	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 <b>フランス</b> ストラスブール大学 Université de Strasbourg	指導言語 フランス語・英語 語学条件 CEFR B1 相当のフランス語能力 (DELFL-DALF, TCF, TEF degree) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
 <b>フランス</b> 国立応用科学院 リヨン校 Institut National des Sciences Appliquées de Lyon	指導言語 フランス語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のフランス語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>フランス</b> 国立中央理工科学校 Ecole Centrale	指導言語 フランス語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のフランス語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>オーストリア</b> ウィーン大学 University of Vienna	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のドイツ語能力(学内条件) 学部ごとに異なるため要確認 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①10月～1月 ②3月～6月
 <b>スイス</b> スイス連邦工科大学 ローザンヌ校 The Swiss Federal Institute of Technology, Lausanne	指導言語 フランス語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500 または CEFR A2 相当のフランス語能力(学内条件) 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
 <b>フィンランド</b> アアルト大学 Aalto University	指導言語 フィンランド語・スウェーデン語・英語 語学条件 TOEFL iBT 92, IELTS 6.5 その他条件 School of Arts, Design and Architecture および School of Businessへの交換留学は不可 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①8月～12月 ②1月～7月
 <b>ロシア</b> モスクワ国立大学 Moscow State University	指導言語 ロシア語・英語 語学条件 要確認 成績条件 GPA 3.0 学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート



派遣国 スウェーデン  
派遣大学 ウプサラ大学  
開催期間 2014年8月～2015年6月

## 能動的に取り組む授業と異文化理解を通して、自分が変わりました。

### 積極的に参加することが求められる授業

スウェーデンの授業は、先生が一方向的に話すレクチャーと少人数で議論するセミナーの2つで進んでいきます。初めてセミナーに参加したとき、みんな積極的に発言をしていて議論が白熱している様子を見て、ただただ圧倒されました。私も何か話さなきゃとは思いましたが、そもそもみんなが何を話しているのか理解することができず、黙って座っているしかありませんでした。それでも、セミナーに参加し続けてみんなが議論していることを理解できるようになったころ、あることに気づきました。それは、みんなが堂々と間違っただけの発言をしていること、そして間違いから議論が発展するという事です。これに気づいてからは、間違ってもいいと思うと気が楽になって、自分の意見を言えるようになりました。帰国する頃には、指定された論文を読んで自分の意見をあらかじめ考えセミナーでそれを伝えることが、楽しいとさえ感じるようになりました。積極的に議論に参加する姿勢は、帰国してから変わりません。留学前よりもゼミに参加することがずっと楽しく感じられます。

### 住んでみて初めて分かるその国の文化

留学前にスウェーデンについて調べてはいたのですが、実際に住んでみて気づいたこと、驚いたことがたくさんありました。スウェーデンに住んでみて驚いたことは、宗教に対する姿勢が日本人に似ていたことです。スウェーデンに留学する前に、SAPでカナダに行きました。そのときお世話になったホストファミリーは敬虔なキリスト教徒で、食事の前には必ずお祈りをして、日曜日はミサに出かけていました。スウェーデン人も同じだろうと漠然と考えていました。しかし、スウェーデンには教会はあるものの、ほとんどの人はお祈りもしないしミサにも行きません。スウェーデン人は一応プロテスタントを信仰していることになっていてクリスマスやイースターは祝いますが、日々の生活に宗教が根づいているとは感じられませんでした。欧米という言葉でひとくくりにして、宗教に対する姿勢はカナダもスウェーデンも同じだろうと考えていた自分が恥ずかしくなりました。多様な文化があるということを頭では理解していても、この国はこういうものだろうと無意識に決めつけてしまっていました。

留学先の文化を理解して受け入れること、多様な文化があるということを感じること。これも留学のひとつの楽しみだと思います。

#### ▶ 滞在先について

大学が提供している寮はいくつかあるが、その中で最も規模の大きいflogstaという寮に住んでいた。シャワー・トイレは各部屋にあり、キッチンだけは12人で共有していた。寮のすぐ近くにスーパーマーケットや郵便局があり、ダウンタウン行きのバスが12分おきに出ている。寮は通っていたキャンパスから3kmほど離れていたため、自転車で通学していた。

#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
	起床		授業の予習		昼食	移動	授業	カフェで雑談	帰宅		夕食		授業の復習	自由時間		就寝			

法学部 法学科  
学部3年(留学開始時)  
駒宮 寛子さん



派遣国 インドネシア  
派遣大学 ガジャマダ大学  
開催期間 2014年9月～2015年6月

## 自分の中にあった価値観が覆され、新たな視点を獲得することができました。

### 日本の常識が通じない環境での生活

インドネシアという人種、宗教、気候、言語、その他何をとっても日本のそれとは大きく異なる環境下で生活していると、この世の中で一体何が正しいのかわからなくなることがしばしばありました。特に日本との違いを感じたのが「時間感覚」。インドネシアには「Jam Karet(ゴムの時間)」という時間概念が存在します。これは、約束の時間は決めるものの、その時間はゴムのように伸び縮みするという考え方です。その約束がformalなものでもinformalなものでも関係なし。インドネシア人は平気で30分、時には1時間以上遅刻してきます。日本の常識では待ち合わせに1分でも遅刻しようものなら嫌な顔をされますが、インドネシアでは全く違ってました。この時間概念も手伝って非常におおらかな人間形成がなされているという点で、必ずしも時間厳守の世の中が正であるとは言い切れないのかな、と滞在中ずっと感じていました。このように、日本の外で長期間生活することで、これまでの自分の常識を新たな視点で顧みることができたのは、今後の人生に非常に有益であると確信しています。

### 本当のコミュニケーションとは

皆さんは、外国人と意思疎通するには英語さえできるようになればいいと思いませんか？ 僕自身、留学前はそう考えていたのですが、留学を経て、英語ができるからといって世界中の人々と「本当の意味で」仲良くなるわけではないのだなと考えが変わりました。まず現実的な話として、英語ネイティブの国家を除くと、日常生活の中で英語を使っている国家はほとんどありません。インドネシア人と集団行動をする際には、使われる言語は当然インドネシア語でした。そもそもインドネシアのような貧富の差の大きな国では、英語を学習する機会のない人は非常に多く、そんな人々と本当の意味で仲良くなるためには、現地の言葉を深く理解し、使用する必要性がありました。初めの2ヶ月間、死に物狂いで言語習得に励んだ記憶は今でも鮮明です。加えて、意思疎通のためには相手の宗教や社会的背景も考慮する必要があります。世界最大のムスリム国家であるインドネシアでは断食、禁酒、豚を食さないなどの慣例があり、そこへの理解がない限り深いコミュニケーションはできません。僕自身、理解不足から大切な人を傷つけてしまったこともありましたが、ただ、留学を終えて今思うことは、本当にインドネシアに留学してよかったということです。多種多様な人々と交流したことで価値観が180度変わりました。皆さんも是非、留学をして新たな自分を発見してくださいね！

#### ▶ 滞在先について

アパート(インドネシア語で「コス」)に住んでいた。15部屋くらいあり、大半が同じ大学の学生(全てインドネシア人)。他の日本人学生でルームシェアをしている人もいたが、自分は一人で住んでいた。大学まではバイクで10分かかる程度。

#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床朝食	登校	授業		図書館で自習	昼食	インドネシア語学校		家で休憩		部活(サッカー)		帰宅	友達と遊ぶ		宿題・授業準備		就寝		

工学部  
機械知能航空工学科  
学部4年(留学開始時)  
澤村 昌幸さん



Cooperative Laboratory Study Program Outbound

## COLABS (自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム)

### 参加対象

- ①自然科学系研究科の大学院生
- ②自然科学系研究科に進学見込みの学部4年生
- ③6年生課程の5年生以上(但し、特別プログラムは4年生以上)

自然科学系研究科 | 理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科

奨学金情報 | 成績優秀者に6~10万円の奨学金を支給予定(▶ P33 JASSO奨学金)

### セメスター型

#### 1学期から1年間の研究センター型留学プログラム

留学中は、派遣先大学の研究者の指導の下、主に研究活動に従事します。海外での学術経験を積むことができるだけでなく、海外の研究者との人的ネットワークを築くチャンスとなります。COLABSプログラムによる研究成果を基に、海外の一流の学術誌に論文を掲載された学生もいます。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関または部局間協定機関

期間 | 1学期~1年間(最短3ヵ月)

### 集中型・ワークショップ型

#### 3ヶ月以内の研究センター型留学プログラム

東北大学と学術交流協定を結ぶ海外の大学のみならず、希望する大学に留学できる可能性があります。本プログラムの対象は、COLABSセメスター型と同様です。

#### ▶ 集中型

派遣先機関の研究者の指導の下、研究活動に従事します。

#### ▶ ワークショップ型

派遣先機関等で開催されるワークショップや研究会への参加だけでなく、研究活動やフィールドワークなどの調査を行うこともできます。

派遣地域・大学 | 34の国と地域・205校、協定校以外の希望する大学

期間 | 【集中型】1ヶ月~3ヶ月未満  
【ワークショップ型】10日~1ヶ月未満

### 特別プログラム

#### 長期休業期間を利用した2ヵ月未満の短期留学プログラム

このプログラムでは、派遣先大学の教員から自身の研究結果について指導・助言を受けながら、学術的な場での発表に練成するワークショップを中心に現地学生との交流、企業訪問などを含めた文化交流も行います。

派遣地域・大学 | アメリカ・カリフォルニア大学デビス校、ワシントン大学 他

期間 | 2週間~5週間

### ▶ COLABS体験レポート

#### 「研究」のための留学で、自信と度胸が身につきました。



理学研究科  
学部4年(留学開始時)  
**寺岡 夕里さん**

派遣国 | アメリカ  
派遣大学 | ローレンス・バークレー国立研究所  
留学期間 | 2015年2月~6月



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床・朝食	準備	登校	実習コース	昼食	研究	セミナー	帰宅	夕食	読書・ラジオ	就寝									

#### 留学生としてではなく、1人の研究者として学ぶ

COLABSの特徴は、研究のための留学であることです。自分が研究をしたい大学・研究者を探し、その先生に直談判して留学先で研究をさせてもらいます。そのため本気の指導を受けられますが、成果を出し責任を持ってアウトプットすることが求められます。

学部2年時にSAPで短期留学した経験もあったので、英語力を試すのも目的のひとつでした。議論中に用いる専門的な言い回しには苦戦しましたが、今は緊張せずに英語で発表・議論ができるようになりました。

ローレンス・バークレー国立研究所は世界中から一流の研究者や学生が集まっています。私が所属していた研究室にも7つの国の研究者がいて常に国際交流をしている状態でした。研究中でもそれぞれのお国柄が垣間見えるのが面白く、冗談を互いに言い合っていました。アメリカ人でないことが当たり前だったので、留学生としてではなく同僚として扱われて苦しかったこともあります。アメリカで育った大人並みの教養や知識が求められたため、毎朝毎晩ニュースを見たりラジオ番組を聞いたりしていました。

週末は散歩や観光をしていました。最も楽しかったのは2年前にSAPで行ったリバーサイドへの旅行です。以前は怖くてひとりでは出歩けなかったのですが、留学中に自信と度胸が身につく、リバーサイドへは飛行機・バス・電車を乗り継いで行きました。当時のホストファミリーと思い出話をしたり、わざわざ会いに来てくれた友達と将来の夢を語り合ったりできたのが、とてもいい息抜きになりました。

#### 思いきって挑戦することで、ひと回り大きく成長できました。



工学研究科 応用化学専攻  
博士前期課程1年(留学開始時)  
**安田 陽さん**

派遣国 | フランス  
派遣大学 | レヌ第一大学  
留学期間 | 2014年9月~2015年2月



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	研究	昼食・休憩	研究・報告会	フランス語の授業	帰宅	夕食	自由時間	就寝										

#### たくさん質問し、たくさん意見を交わすことでわかり合う

COLABSは留学先で研究活動を行うことができ、さらに奨学金制度も充実していたため時間と金銭面での負担が少ないことが魅力です。留学に際して授業の履修調整などは必要でしたが、チャンスを逃したくないという気持ちからチャレンジすることを決めました。留学先は担当教授に紹介してもらって決定しました。

留学先では有機合成を中心としたテーマに従事し、半年の研究を通して新たな分析知識などを習得しました。学生は私を含めて2名のみで、研究スタッフとの議論が中心でした。わからないことが多く戸惑うこともありましたが、それを溜めこまずに質問することで打ち解けられ、高度な実験技術や専門知識を吸収することができました。

他大学で開講されているフランス語の授業にも週2回参加しました。クラスメートとともに学ぶことで語学の楽しさを再認識し、細かいルールにとらわれず会話をすることが重要だと学びました。休暇で訪れたモロッコではこれまで学んだフランス語の成果を発揮できました。フランス人の友人と話すとき、よく「キミはどう思う?」と聞かれました。細かく意見を言わなくてもいい日本人との違いに驚きを覚えたのですが、なんでも話すことでより深い関係を築くことができたと思います。今回の留学を通して、研究に関する知識だけではなく人との関わり方についても多くを学ぶことができました。何となく生活できる環境から抜けだして、新たな生活、友人、土地を知れたことで、大きく成長できました。

東北大学からの留学  
海外研修(SAP)  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
海外体験プログラム  
留学のための各種サポート  
学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

Double Degree Program

## ダブルディグリー（共同教育）プログラム

### 東北大学と提携校の二つの修士レベルの学位取得を目指すプログラム

本プログラムの提携校はいずれも世界各国からエリートを集めて高度な教育を実施している高等教育機関です。将来世界を舞台に活動するために必要となる実質的な専門知識、研究能力、国際性、異文化対応力の養成が期待できます。

国立中央理工科学学校とのダブルディグリープログラムでは、学部3年次の途中から渡仏し、国立中央理工科学学校における5年間のプログラムのうち1年次および2年次を履修します。帰国後は、本学学部4年次および博士前期の課程2年を経て両校の学位を取得します。

国立応用科学院リヨン校、スウェーデン王立工科大学とのダブルディグリープログラム、および清華大学との共同教育プログラムでは、本学の博士前期課程に進学後に留学し、提携校で授業履修や研究を行います。帰国後は、本学博士前期課程修了に必要な研究などを行った後、両校の学位を取得します。

奨学金情報 | 東北大学基金グローバル海外留学奨励賞への応募が可能(▶ P33)

派遣地域・大学

フランス・国立中央理工科学学校(Ecole Centrale)5校  
国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)  
スウェーデン・スウェーデン王立工科大学  
中国・清華大学

期間

1年半程度

参加対象

一部の自然科学系博士前期課程に進学見込みの学部生および博士前期課程の学生  
(派遣先により派遣時期、対象部局が異なる)

### ※ ダブルディグリー（共同教育）体験レポート

## ダブルディグリーは最高のチャンスです。



工学研究科  
博士前期課程1年(留学開始時)  
**田邊 陽子**さん

派遣国 スウェーデン  
派遣大学 スウェーデン王立工科大学  
留学期間 2013年8月～2015年3月

### 多様性の中での世界との出会い

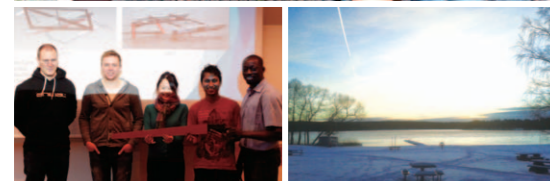
スウェーデン王立工科大学(KTH)のダブルディグリープログラム(DD)に参加し、civilingenjörというスウェーデンにおける修士学位取得のために1年8ヵ月ほどストックホルムで勉強しました。スウェーデンの修士課程は授業が中心です。そのため、授業は細分化されており、高度な理論的な専門の授業から実務に近い応用的な授業まで、質の高い授業を受けることができました。

DDは、学位取得を目的としているため卒業要件があり、少々厳しい留学プログラムかもしれません。特に必修であるスウェーデン語の単位取得には苦戦しましたが、卒業要件があり学位取得という明確な目標があることは留学生生活をより充実させると共に、世界中から集まった正規学生やDDの学生と協力しながら切磋琢磨する素晴らしい機会を与えてくれると思います。既に学位への熱意がある人はもちろんですが、留学を通して勉強して自分を成長させたいけれど、はっきりとした目標がなく漠然としているという人にこそ是非参加して欲しいと思います。

### 世界を広げた家電会社での修士研究

スウェーデンでは、最後の半年間の修士研修を企業で行うことができます。私は、幸運にもElectroluxという家電会社で行う機会に恵まれ、半年間企業に身を置くというとても貴重な経験をしました。スウェーデンの大企業は多様性が既に定着しており、真のグローバル企業とは何かを骨身に染みて体験しました。それとともに、昼休みにランニングに行ったり、同僚とコーヒーを飲みながらお菓子を食ったり長い休暇があったりとスウェーデン文化をローカルに大切にしていることを実感することが出来ました。

企業でのチャンスを掴むには、就活をすることが必要です。そのためには、運と応募を続ける忍耐力が必要ですが、この経験から将来のためにどのように現在を生きるか考える癖がつくようになりました。また、海外での就活をしたことで、今後のキャリアをより幅広く考えることができるようになりました。



#### ▶ 滞在先について

大学から電車で7分ほどのストックホルム中の学生が集まる学生寮に滞在した。居室はトイレ・シャワー付き。キッチン、スウェーデン中および世界中から学びに来たフラットメイトと共同で使用するため、日々料理をしながら自然と様々な国の方と交流していた。フラットメイトとは日々の生活規範についての議論や、パーティーやBBQを通じて大学外での深い関係を築くことができた。

#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・朝食		授業		昼食			授業・自習			友人と遊ぶ・ショッピング			夕食・自由時間					就寝

### [各大学の募集時期と応募条件]

#### 国立中央理工科学学校

フランス 

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)2年次の11月～12月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分なフランス語力

派遣時期 学部3年次の8月

#### 国立応用科学院リヨン校

フランス 

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の11月～12月

語学要件 TCF 350

派遣時期 博士前期課程1年次の8月

#### スウェーデン王立工科大学

スウェーデン 

対象研究科 工学、農学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(工、農)4年次の11月～12月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力

派遣時期 博士前期課程1年次の8月・9月

#### 清華大学

中国 

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の11月～博士前期課程1年次の4月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力

派遣時期 博士前期課程1年次の2月・3月



## ▶▶ 大学院生派遣プログラム

Visiting Student Researcher Program

### UCB大学院生派遣プログラム

カリフォルニア大学バークレー校(UCB)で、自分の研究テーマに関連のある各研究室へ自発的に働きかけることができます。そこでアドバイザー(指導教員)を探し、交流することで、研究室での研究や論文作成の助言を得ることができます。さらにUCBが本プログラム参加学生に開放する正規授業講義を聴講することもできます。これらの活動を通して、アカデミックスキルや英語運用能力を高めるだけでなく、大学院レベルの若手研究者との交流により、国際的なネットワークを築くこともできます。さらに留学中は、UCBの正規授業を聴講することができます。(単位の取得には別途授業料がかかります)

奨学金情報 | 東北大学基金グローバル海外留学奨励賞への応募が可能(▶P33)

派遣地域・大学 | アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校 | 期間 | 1学期~1年間

参加対象 | 全研究科の大学院生、または本学の大学院へ進学見込みの学部4年生

## カリフォルニア大学バークレー校の研究室で、自分の研究を突き詰める!

### ▶▶ カリフォルニア大学バークレー校(University of California, Berkeley;UCB)

UCBは、1868年に設立された、10大学から成るカリフォルニア大学システム最古の大学である。各種世界大学ランキングで常に上位の評価を得ており、国際的にも名門大学としてよく知られ、世界中から優秀な学生を受け入れている。現在、約36,200人の学部生および大学院生のうち、約5,500人が留学生である。多くのノーベル賞受賞者やピューリッツァー賞受賞者などを輩出しており、現在8名のノーベル賞受賞者が現役の教員として教鞭をとっている。また、14の学部・研究科および130の学科、80の多分野研究ユニットには、さまざまなバックグラウンドを持つ多くの著名な研究者および学生が所属し、UCBならではの魅力的な学習環境が整っている。

## ▶▶ UCB大学院生派遣プログラム

今だからこそできることに思いきってチャレンジしました。



文学研究科  
博士前期課程1年(留学開始時)  
**袁 曉犇 さん**

派遣国 | アメリカ  
派遣大学 | カリフォルニア大学バークレー校  
留学期間 | 2014年8月~2015年5月

### 失敗を恐れないことで、新しい自分と出会う

UCBのリベラルな校風は学生団体の豊富さや研究の多様性から窺い知ることができます。キャンパスを歩くだけで、たくさんのイベントや講演の情報が目に入ります。それぞれの学生団体による集まりが頻繁に行われていますので、自分の興味に合うサークルや団体が必ず見つかります。また、現地のアメリカ人の学生といっても、みんなそれぞれ異なるバックグラウンドを持っているため、話をするだけで大いに勉強になりました。さらに、自分が所属していた言語学の分野では、情報科学や神経科学と関連のある授業を聴講することもできて、理系・文型に関係なく、幅広い学問の勉強ができました。

アメリカは競争意識が非常に高い国だと思います。その結果、失敗する時に落ち込むこともあります。しかし、UCBで感じたのは、たとえ今日失敗しても、明日は必ず晴天になるような(カリフォルニア州の天候は年中穏やかで、悪天候はめったにない)、失敗を恐れない心構えです。失敗をすることによってどんどん成長につながるという経験が自分にとって大変勉強になりました。



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食	準備・登校	授業	昼食	授業・自由時間	帰宅	夕食	自由時間	就寝									

## ▶▶ 学部・研究科等主催のプログラム

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科などが独自に留学プログラムを実施している場合があります。

### 経済学部「課題解決型(PBL)を取り入れた海外派遣フィールドワークプログラム」

対象者	全学部 学部生(経済学部学生優先)	募集人数	100名程度
派遣先	タイ・チュラロンコン大学、中国・香港城市大学、マレーシア・マレーシアサイエンス大学 など		
派遣時期	夏季 8~9月、春季 2~3月 各15日間		
単位	経済学部専門教育科目「PBLプログラム」(2単位)		
問合せ先	経済学部 国際交流支援室 (▶P34)		



### 理学部「理数学生応援プロジェクト 海外研修プログラム(理数SAP)」

対象者	理数学生応援プロジェクトに登録する理学部2年生	募集人数	20名程度
派遣先	オーストラリア・シドニー大学		
派遣時期	2~3月頃(約3週間)		
単位	理学部専門教育科目「海外研修」(2単位)		
問合せ先	理学部 学部教務係 ☎022-795-6350 ✉sci-kyom@grp.tohoku.ac.jp		



### 医学部「基礎医学修練」

対象者	医学部医学科 3年次学生	募集人数	20~30名程度
派遣先	海外の大学・病院等 ※国内の場合もあり		
派遣時期	10~3月頃(配属先分野により異なる)		
単位	医学部専門教育科目「基礎医学修練」(10単位)		
問合せ先	医学部教務室 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp		



### 工学部・工学研究科「学生国際工学研修」

対象者	工学部・工学研究科の学生	募集人数	15名程度
派遣先	海外の学術交流協定校等(年により異なるが、主に欧州)		
派遣時期	9月中旬頃(1週間程度)		
単位	工学部専門教育科目「国際工学研修」※申請による		
問合せ先	工学部 国際交流室 (▶P34)		



### ロシア交流推進室「Tohoku University Cross-Cultural Program with Russia」

対象者	全学部 学部1・2年生	募集人数	15名
派遣先	ロシア・モスクワ国立大学		
派遣時期	3月(約2週間)		
単位	なし		
問合せ先	ロシア交流推進室(国際交流課連携推進係) ✉kokusai-r@grp.tohoku.ac.jp		



※ここに紹介するプログラムはあくまで一例であり、また、2015年度の情報です。実施の有無および内容は年度により異なる、または変更する場合があります。※プログラム内容や応募方法などの詳細は、各担当係に直接確認してください。

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部・研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

## 海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアム(大学連盟)や大学間学術協定校などが、夏や春の長期休業期間中に実施する2週間程度以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせたものです。全学教育科目「海外フィールドワーク」として単位を取得することが可能です。これらのプログラムに参加後、交換留学を希望し、実現させる学生も少なくありません。積極的にこの機会を利用して、海外の学生とのネットワークを広げてください。

奨学金情報 | 成績優秀者に6~10万円の奨学金を支給予定(▶P33 JASSO奨学金)

派遣地域・大学 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学

参加対象 プログラムにより異なります

単位 全学教育科目「海外フィールドワーク」(2単位) ※本学で実施する事前・事後研修への参加必須

### 2015年度実施プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
INNES Summer School ※注1	オーストリア	ウィーン工科大学など	2~3週間	7月	英語で行われる多様な講義、ドイツ語授業
International Summer School	台湾	中正大学	2週間	8月	英語で行われる授業、文化体験、フィールドトリップ
International Summer School	台湾	国立成功大学	2週間	8月	中国語、文化、中国絵画、中国料理などさまざまな授業、フィールドトリップ、企業訪問
APRU Undergraduate Summer Program	マレーシア	マラヤ大学	2週間	8月	リーダーシップに関する授業、文化体験、フィールドトリップ
PNU Summer School	韓国	釜山大学校	2週間	8月	英語で行われる授業、韓国文化体験、フィールドトリップ
カリフォルニアイノベーション研修	アメリカ	US-JAPAN FORUM	1週間	9月	大学訪問、企業訪問
スカンジナビア研修	フィンランド	オウル大学	3週間	8・9月	スカンジナビアに関する歴史・文化・言語を学ぶ授業、フィールドトリップ、文化体験

※注1:2016年度はショートプログラムとして実施します。※上記一覧は、前年度実施のプログラムに基づいて記載していますので、変更の可能性があります。これら以外にも、世界中でたくさんのプログラムが開催されています。海外体験プログラム募集案内は、所属の教務係で情報収集を行ってください。

## ショートプログラム

ショートプログラムは、東北大学が加盟するコンソーシアムや、大学間学術交流協定校等が、夏や春の本学の長期休業期間中に実施する1~8週間程度の短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものです。

派遣地域・大学 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学

参加対象 プログラムにより異なります

### 2015年度実施プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
Student Workshop	中国	同済大学	1週間	6月	Sustainable Urban & Rural Developmentに関する授業、課外活動
AEARU Summer Camp	中国	中国科学技術大学	2週間	8月	科学技術に関する授業、企業訪問、文化体験、フィールドトリップ

※上記一覧は、前年度実施のプログラムに基づいて記載していますので、変更の可能性があります。これら以外にも、世界中でたくさんのプログラムが開催されています。ショートプログラムの募集案内は、所属の教務係で情報収集を行ってください。

## 海外体験プログラム参加レポート

### ▶ INNES International Summer School

実際に体験してみると、新たな目標への意欲が芽生えました。



文学部 ドイツ文学専修  
学部2年(留学開始時)

村田 侑香さん

派遣国 オーストリア

派遣大学 ウィーン大学

留学期間 2016年7月6日~24日

#### ウィーンでのたくさんの学び

欧州や南米、アジア、アフリカ地域から学生が集まり、それぞれの専門の分野に関してレベルの高い学びの場が用意されていました。私はオーストリアを中心とした建築やアートについて勉強しました。授業中意見を交わす機会が多かったのですが、他の学生の参加意欲がとても高く、最初はついていくのがやっとでした。しかし、自分から問題提起しなければいけないと気づいてから常に「なぜ」を探しながら授業を聞くようになり、そうすると少しずつ自分の疑問や意見を表現できるようになりました。

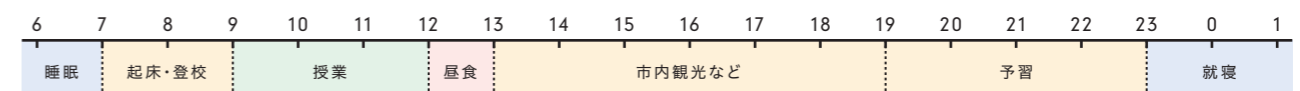
授業の後はウィーン市内の美術館に行ったり、ドナウ川でくつろいだりしました。他の国からの参加者と一緒にお互いの国の料理を作って交流したことなど、楽しい思い出がたくさんです。ウィーンは移民が多く、さまざまな言語が話されていたことも日本と比べると新鮮で衝撃的でした。やはり、自分の目で見て体験するということはとても大切だと感じました。

日本人が全くいない状況での3週間は初めての経験でした。たくさん失敗しましたが、多くの人のおかげでかえりのない貴重な経験ができました。このプログラムがきっかけで、ドイツ語圏に対する興味がさらに深まり、今度は1年間ドイツで学んでみたいという次のチャレンジへの意欲が芽生えたことも、自分にとっていい結果だと思います。



コース修了時の集合写真

#### Schedule



### ▶ APRU Undergraduate Summer Program

伝えようという気持ちがあれば、相互理解が可能だとわかりました。



理学部 宇宙地球物理学科  
学部3年(留学開始時)

代 友輝さん

派遣国 マレーシア

派遣大学 マラヤ大学

留学期間 2015年8月2日~15日

#### たくさんの出会いと気づき

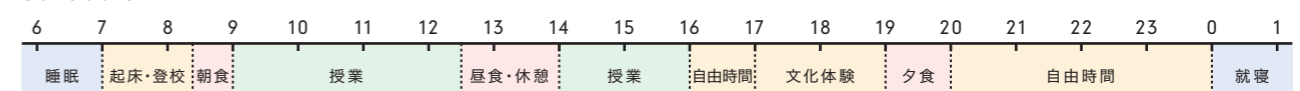
このプログラムでは1日2コマの英語で行われる授業を受け、leadershipを学びました。放課後はマレーシアの伝統文化を体験したり、現地学生に市内を案内してもらったりした他、週末はホームステイや熱帯雨林散策に行きました。マレーシアが多民族国家であることに加えて、環太平洋の国々から学生が集まったため、日本にはない多様性を体験しました。

2週間を振り返り、私が心から思うことは、たくさんのいい出会いがあったということです。初めはひとり孤独であったけれど、多様なバックグラウンドの学生と寝食をともにし、遊び、語らううちにお互い理解し合えて多くの友人ができました。自分の英語力の拙さを感じながらも、伝えようという気持ちを持てば、言葉が通じずとも気持ちが伝わることを学びました。また、そんな出会いを通して、価値観、戦争歴史認識や宗教の考え方に違いがたくさんあることに気づかされました。私にとって、この2週間は出会いと気づきの多い貴重な経験でした。



グループワークのメンバーと一緒に

#### Schedule



東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流留学サポートオフィス

留学サポート

▶ 全学生対象のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶ P34

**★留学アドバイジング** 要予約

グローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関するさまざまな疑問に、国際経験豊かなグローバルラーニングセンター教員がお答えします。留学に興味はあるけれど不安がある場合や、海外留学プログラムや留学に関する最新情報を得たい場合など、お気軽にご連絡ください。

実施日	週4日(月・火・木・金曜) ※曜日毎に担当教員が異なる
予約方法	希望日の3日前までにメール送信(詳細はHP参照)
場所	川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター西棟3階 各教員室

曜日	時間帯	アドバイザー	曜日	時間帯	アドバイザー
月	11:30~13:00	末松 和子	木	11:30~13:00	鳥田 和久
火	11:30~13:00	高橋 美能	金	12:00~14:00	粕壁 善隆

**★GCS留学アドバイジング** 予約者優先

交換留学体験者のGCS(グローバルキャンパスサポーター)が、留学に関するさまざまな疑問にお答えします。留学に興味はあるけれど不安がある場合や、留学に関する情報を得たい場合など、お気軽にご連絡ください。

実施日 週1日 予約方法 予約者優先(HP参照) 場所 川内南キャンパス 図書館本館1号館2階グローバル学習室

**●東北大学留学フェア ~海外留学応援月間~** 5月

毎年5月を「海外留学応援月間」とし、海外留学や語学学習等に係る各種説明会を連日開催します。

**●海外留学説明会** 5月、10月

グローバルラーニングセンターが主催する各種海外留学プログラムの内容、協定校の最新情報、語学サポート、奨学金情報など、留学や海外研修に必要な情報を得ることができます。また、留学や学内でできる国際交流について、経験者から体験談を聞くことができます。

**●海外研修(スタディーアブロードプログラム/SAP)募集説明会** 5月、10月

夏(8・9月)及び春(2・3月)の参加者募集にあわせ、応募受付期間に各プログラムの概要を紹介する説明会を開催します。

**●海外研修(スタディーアブロードプログラム/SAP)報告会** 4月、10月

2016年春実施プログラムの参加学生から、イギリス、フランス、アメリカ、カナダ、インドネシア、タイ、台湾、オーストラリアで実施された10プログラムについて、体験談を聞くことができます。SAPに興味のある方は、ぜひご参加ください。

日時 4月12日(火)、4月13日(水)各日18:30~20:30 場所 川内南キャンパス 附属図書館本館1号館2階 グローバル学習室

**◆GLC Mail(メール配信サービス)** 要登録

希望者に、各種プログラムやイベント、留学や国際交流に関する最新情報を随時配信します。

メール配信登録方法 HP右上「Mail News」の登録用フォームから必要情報を送信



▶ 各学部・研究科のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

文学部・文学研究科 ymurakam@m.tohoku.ac.jp

**★留学カウンセリング** 要予約

留学全般について知りたいことに教職員がお答えします。また、カウンセリングを受けた方を対象に、留学関係書類の添削(推薦状の下書きや志望動機書・研究計画書について、専門分野に立ち入らない範囲で、一般的な添削)を行います。

予約方法 メールに次の項目を書いて送信 ※携帯メールは受信できない場合があります。  
①相談内容概略(正規留学または交換留学、大学院又は学部、期間、国、授業言語) ②氏名 ③学年 ④電話番号

法学部・法学研究科 国際交流支援室 ▶ P34

**★留学相談の日** 要予約

留学相談を受け付けています。留学先の大学での履修科目に関する情報や、海外での生活に関する疑問を解決したい学生は、是非お越し下さい。

時期 毎週木曜12:00~14:00(時間外はメールにて要予約) 予約方法 メール送信

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P34

**★留学カウンセリング** 予約不要

交換留学について、教員・スタッフに相談することができます。

**●部局間留学説明会** 5月、10月

グローバルラーニングセンター主催東北大学留学フェア(▶P27)実施期間(5月)に1回、秋季に2回留学説明会を開催し、留学を奨励しています。

**◆メール・Facebook・HPでの留学情報発信**

海外留学経験学生によるガイダンス・留学報告会等、最新情報をHPやメールで配信しています。

メール配信登録方法 DIEEにメール

**●課題解決型学習海外派遣プログラム(PBL)最終報告会**

告会を開催。3月にロンドンに派遣予定。

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P34

**★留学相談** 予約不要

各種プログラム等による海外留学に関する情報提供・相談を行っています。

医学部・医学系研究科 国際交流支援室 ▶ P34

**●海外留学報告会**

医学科3年次対象の基礎医学修練(▶P24)、同6年次対象の高次医学修練によりアメリカ、カナダ、フィリピン等に短期海外留学をした学生による英語での報告会を行っています。

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P34

**★留学アドバイジング** 要予約

留学や海外研修プログラムに関する相談を受け付けています。

予約方法 メール又は来室

**●工学部・工学研究科留学説明会** 5月、10月

留学制度や手続き、大学の選び方、費用、単位互換等、幅広い情報を提供しています。留学体験者による留學生生活・体験談の発表もあり、希望者は個別に話を聞くこともできます。

**◆メール・Facebook情報配信**

留学、国際交流イベントなどに関する最新情報を配信しています。

メール配信登録方法 IEEDにメール(①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレスを記載)又は来室

東北大学からの留学  
海外研修(SAP)  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
海外体験プログラム  
留学のための各種サポート  
学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

## TEA's English Tohoku University English Academy

東北大学ではより積極的に海外留学に挑戦し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、TEA (Tohoku University English Academy)を設置しました。課外英語学習プログラム(TEA's English)や、英語学習アドバイジング、TOEFL iBT、TOEFL ITPなどの英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's Englishでは、Speaking, Writing, Listening, Readingの4技能を向上させ、実践的な英語を身につけることを目的としたTEA's English学期内プログラムと、長期休業期間中に短期で集中的に英語を学習するTEA's English集中プログラムを開講しています。詳細は、グローバルラーニングセンターホームページで確認してください。

### TEA's English 体験レポート



医学系研究科  
博士課程前期2年  
(プログラム受講時)  
**加藤 さや華**さん  
学期内プログラム  
2015年10月20日～1月21日

英語は読み書きに比べて話すことが苦手だったこともあり、受講を決めました。最初はクラスメートと会話できるか不安でしたが、学年や性別に関係なくみんなと話すことができる、いい雰囲気の中で学習しています。先生は学生の発言と質問を歓迎し、どんな初歩的な質問をしても喜んで答えてくれます。この講義では間違いを恐れずに発言することや疑問点があれば授業中でもすぐに質問することが重要で、最初は質問の仕方から教えてくれました。また、「他人のスピーチを聞いて理解した内容を自分の言葉でみんなに説明する」という練習があり、単に英語という言語の学習ではなく英語を使ったコミュニケーションの実践であると感じられます。時には難しい課題に悩むこともありますが、仲間と一緒に切磋琢磨しながら英語を話す楽しさを学んでいます。



理学部物理系  
学部1年(プログラム受講時)  
**関 佑一朗**さん  
集中プログラム  
2015年8月24日～9月4日

夏休みの時期にTEA's Englishを受講しました。2年の秋からの留学を考えており、英会話力向上だけでなく、自分が本当に留学できるかどうかの判断材料にもしたいと思い、受講しました。ネイティブの先生による授業なので日常会話において使われる適切な単語や連語を数多く知ることができます。また、英語の発音も間違えるとその場ですぐに指導が受けられます。僕は「play」と「pray」の発音の違いを何度も教わりました。授業の内容としてはプレインストロミング、ディスカッション、日常会話など色々あります。この講座を通して、多くの同じ志を持った学生たちや気さくで優しい先生方に会うことができました。この講座は、英語に自信がある方にも、ない方にも、自信をもってお勧めできます！

### TOEFL®テスト

TOEFLスコアは、各種海外留学プログラムや語学学習講座等に応募する際に必要となる場合があります。これらの参加を検討している方はぜひ早めに受験してください。

### TOEFL ITP®テスト

1 全学生対象有料受験	2 全学生対象無料受験
対象者 全学生(非正規生を含む)	対象者 全学生(非正規生を除く)
受験料 4,490円	受験料 無料(大学負担)
申込方法 グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録	申込方法 グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録
実施予定日 年4回:5月25日(水)、8月下旬予定、10月12日(水)、1月12日(木)	実施予定日 年1回:7月9日(土)

### 3 英語授業の一環としての無料受験

対象者 全学教育科目「英語B2」、「英語C2」、「Practical English Skills1・2」受講者	受験料 無料(大学負担)	申込方法 授業内で案内があります
実施予定日 7月 2日(土) 英語C2(理学部・薬学部の学部2年生)、Practical English Skills1 受講者		
11月26日(土) 英語C2(上記外の学部2年生)、Practical English Skills2 受講者		
12月 3日(土) 英語B2(学部1年生)受講者		

### TOEFL iBT®テスト

対象者 全学生(非正規生を除く)	受験料 230USドル(2016年3月現在)※予告なく変更となる場合あり
実施予定日 年2～3回:6月4日(土) 他未定	申込方法 オンライン登録のうえ受験料納入(クレジットカードのみ)

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP および TOEICはエデュケーションナル テスティング サービス(ETS)の登録商標です。

グローバルラーニングセンター ☎022-795-7820 ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp 🌐www.insc.tohoku.ac.jp

### Global Café

申込不要

外国人留学生が先生となって教える語学と文化のミニ講座(2015年度は、英語・中国語・ドイツ語など8言語で実施)

開講 授業期間中(週3～4日程度) 場所 川内南キャンパス 附属図書館本館1号館2階グローバル学習室

### 教務課

全学教育実施係 ☎022-795-7558 ✉kyom-pec@grp.tohoku.ac.jp

### Practical English Course

要申込

英語指導経験が豊かな外国人講師による、プレゼンテーションとディスカッションを中心とした実践的英語力を高めるための課外授業。  
※申し込みにはTOEICまたはTOEFL ITPなどのスコアが必要です。

募集 5～6月頃 開講 10～11月の土・日曜(全10回) 受講料 5,000円 対象 全学生(非正規生を除く)

### 経済学部・経済学研究科

国際交流支援室(DIEE) ▶P34

### Coffee Hour

申込不要

英語・中国語など複数の言語を、ネイティブスピーカーである外国人留学生から直接学ぶ初心者向けのコーヒーセッション。1週間に2時間ほど、各言語別に集まり、コーヒーを飲みながら会話を中心に学習していきます。

開講 毎日(授業期間中)※曜日により言語が異なる 参加費 20円

### D-project

申込不要

英語を用いたプレゼンテーションと議論のスキルの向上を目的とした上級学習者向けのセッション。外国人留学生と一緒に英語でのディベートとディスカッションを行う。

開講 月1回

### 工学部・工学研究科

国際交流室(IEED) ▶P34

### 英語トーク&プレゼンテーションクラス

要申込

英会話、英語でのコミュニケーションをブラッシュアップすると同時に、プレゼンテーション技術も学べるクラス。工学部のブラジル人准教授、フランス人准教授が担当し、会話の始め方や終わり方、相づち、また、意見の述べ方など、会話だけでなくディスカッション法など、雑談およびアカデミックな場面での実践を目指す。日本人が持つ英語に対する苦手意識改革実現に向け、国際的な舞台上で臆さず英語を使用する自信を養う。

開講 毎学期(週1コマ) 受講料 無料 対象 全学生(所属不問、但し工学学生優先)

### フランス語クラス

要申込

フランス人准教授によるフランス語講座。まったくフランス語に触れたことがなくても、文字や発音、日常会話や旅行、生活などに便利な表現などをゼロから学習。フランス語だけでなく、フランスの文化や映画などの芸術、街についての説明もあり、楽しく気楽に学べるクラス。

開講 毎学期(週1コマ) 受講料 無料 対象 全学生(所属不問、但し工学学生優先)

### 聴解力強化クラス

要申込

英語聴解力強化を重点的に、ネイティブが実際に使う表現、発音などを学ぶクラス。

開講 毎学期(週1コマ) 受講料 無料 対象 全学生(所属不問、但し工学学生優先)

### 語学学習教材貸出し

随時

英語・科学技術英語、TOEFL ITP、TOEFL iBT、IELTS、TOEIC、フランス語、仏検、独検、中国語検定HSKなどの語学学習教材および国際・異文化コミュニケーションや海外留学に関する読み物など(原則として一度に2冊、2週間まで)

### 学習支援センター(SLAサポート室)

☎022-795-3374 ✉sla-support@grp.tohoku.ac.jp 🌐sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp

### SLA de 英会話 ～「英会話カフェ」と「1on1英会話」～

予約不要

外国人留学生・日本人の学生アドバイザー(SLA)が、気軽に英語に親しむことができる機会を提供。

- 英会話カフェ…複数人で英会話を楽しむタイプの会で、SLAが会をコーディネート
- 1on1英会話…マンツーマンで、利用者のニーズに応じた英会話

対象 主に学部1・2年生(学部不問) 開講 週4日程度(学期毎に異なる) 参加費 無料

場所 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟1階 SLAラウンジ



▶ 海外からの学生との交流

88の国と地域から約2,100名の外国人留学生在が学ぶキャンパス

海外から多くの研究者や学生を受け入れている東北大学には、海外に行かずとも多文化を体験できる機会があふれています。学内で開催されるさまざまな国際交流行事を通し、外国人留学生などと交流を深めることができます。

グローバルラーニングセンター ▶ P34

**Tohoku University Science Summer Program (TSSP) ボランティア** 2016年7月4日～15日  
 海外の協定校の理工系の学部生が参加するサマープログラムにおける、参加学生と文化的・知的交流  
 募集 5月頃 窓口 ☎022-795-4818 ✉tusp@grp.tohoku.ac.jp

**Tohoku University Japanese Program (TUJP) ボランティア** 第1期:2016年7月4日～7月19日 第2期:2016年7月25日～8月9日  
 海外の協定校の学部生が参加する日本語サマープログラムにおける、文化交流、地域社会との連携活動  
 募集 5月頃 窓口 ☎022-795-3745 ✉tujp@grp.tohoku.ac.jp

文学部・文学研究科 教務係 ☎022-795-6005 ✉art-kyom@grp.tohoku.ac.jp

**文学部サマープログラムサポーター** 6月～8月  
 海外の著名大学からの参加学生(20名程度)のサポーターとして演習や施設見学に同伴

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P34

**国際交流イベント** 随時  
 外国人留学生との国際交流推進イベントと文化体験活動(お花見会、さくらんぼ祭り&陶芸体験、芋煮会、グローバルスポーツ大会、ボランティアツアー、紅葉祭りなど)

**外国人留学生学習サポート** 毎週木曜  
 経済学研究科への進学を目指す研究生を中心とする外国人留学生のための学習支援

**Business Experience in Tohoku University (BET) ボランティア**  
 フィールドワーク・文化体験等に参加

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P34

**留学生サポーター** 9月中旬～10月上旬  
 10月に入学する外国人留学生の入学手続き補助等

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター(国際連携部門) ▶ P34

**留学生懇談会** 4月下旬、10月下旬  
 歯学部・歯学研究科で学ぶ世界各国からの外国人留学生在が中心となって企画する学生、教職員等との懇談会  
 窓口 歯学部教務係 ☎022-717-8248 ✉den-kyom@grp.tohoku.ac.jp

**短期受入留学プログラムボランティア** 適宜  
 海外の協定校から学生を招いて長期休業期間中に実施するショートプログラム(1～8週間程度)の運営補助等

**被災地実地研修プログラム** 不定期  
 歯学部・歯学研究科の外国人留学生在および日本人学生を対象とした東日本大震災被災地での実地研修

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P34

**Tohoku University Engineering Summer Program (TESP)** 7月下旬～8月上旬  
 海外の交流校から学生を招き、2週間のサマープログラムを開催しています。学生交流ボランティアは、参加学生をサポートするとともに、文化体験やフィールドトリップと一緒に参加することができます。詳細は7月上旬に工学研究科国際交流室HPおよびフェイスブックで発表します。  
 申込方法 メールタイトルを「TESPボランティア希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み  
 ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス

**国際交流イベント** 不定期  
 感謝祭、お雑煮パーティー、手巻き寿司パーティー など 参加費 500円以下

**国際交流の旅** 2月頃  
 外国人留学生・研究者などを対象とした東北の隣県または県内への日帰り旅行への同行(英語で各名所や文化の説明)  
 募集 1月下旬 参加費 2,000円以下(昼食代)

**海外訪問団との交流会** 不定期  
 海外から学生訪問団が来る際に開催される、昼食会、工場見学や意見交換会などに参加

国際文化研究科 教務係 ☎022-795-7556 ✉int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp ☎www.intcul.tohoku.ac.jp

**国際交流の集い** 夏～秋頃  
 国際交流への理解を深め、国際文化研究科内の交流を促進するための、外国人留学生、日本人学生・教員・職員の交流会  
 募集 適宜(実施日の1ヶ月前頃)



▶ 東北大生による国際交流活動団体

学生が中心となって活動する語学や国際交流に特化した活動団体

グローバルキャンパスサポーター(GCS)

**団体概要** 交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。グローバルラーニングセンターと協働し、学生の視点でさまざまな留学支援活動・国際交流イベントを実施しています。

**活動内容** GCS留学アドバイザー(▶P27)、GCSレターの発行、留学説明会等イベントにおける体験談発表・運営補助 等

☎www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/ ㊦www.facebook.com/GCS.tohoku

ESA-net (東北大学交換留学生同窓会)

**団体概要** より多くの東北大学生に交換留学を経験してもらうために、海外留学経験者による関連情報の発信を行うことを目的として発足した団体です。

**活動内容** 留学準備から留学中、帰国後のキャリア支援までに関する情報発信  
 留学経験者、留学をしようとしている人たちの 交流を目的としたイベントの実施

✉tohoku.exchange@gmail.com ☎www.cefix.insc.tohoku.ac.jp/esa-net/about/ ㊦www.facebook.com/tohoku.exchange

留学生支援団体 IPLANET

**団体概要** 人文・社会科学短期留学生受入プログラム「IPLA」の学生の留学生生活を支える学生団体です。イベント企画・運営に加え、外国人留學生に対する1年を通じての日常的なサポートが主な役割です。メンバーが主体となってゼロから企画を練り、活動を創り上げています。

**活動内容** 各種イベント(料理教室、日本文化体験、日帰り旅行、歓迎会、お別れ会等)及びGlobal Café(▶P31)の運営  
 一対一で外国人留學生の学習や生活を援助(チューター)

✉ipla.tohoku@gmail.com ㊦www.facebook.com/iplanet.tohoku/

TUFSA・東北大学留学生協会(Tohoku University Foreign Students Association)

**団体概要** 東北大学の外国人留學生を中心とする団体で、現在はアジア、ヨーロッパ、南北アメリカ出身の学生から構成されています。その歴史は長く、1965年に設立され、2015年に結成50周年を迎えました。外国人留學生と日本人学生の架け橋となるべく尽力しており、様々な文化に触れたい、多様な価値観を共有したいという方を歓迎します。

**活動内容** 留學生の勉学や生活面におけるサポート、学内の国際交流推進、市民活動への参加、各種イベントの企画・運営(東北大学国際祭り、新入生歓迎会、ダンスパーティ、スポーツ大会、チャリティ活動等)  
 ※東北大学国際祭り:一般市民の方々も参加するビッグイベントで、世界各国の伝統料理や伝統舞踊の紹介、異文化体験コーナー等様々な催しを実施しています。5月下旬に川内南キャンパス東北大学百周年記念会館(秋ホール)前広場で開催予定です。

✉tufsacontact@gmail.com ☎www.tufsa.net/ ㊦www.facebook.com/tufsafanpage

TUMCA・東北大学イスラム文化協会(Tohoku University Muslim Cultural Association)

**団体概要** イスラム文化交流・友好関係の構築を目的として設立された団体です。

**活動内容** 東北大学国際祭り・せんだい地球フェスタへの出展、アラビア語・英語講座、料理教室の運営

✉president.tumca@gmail.com ㊦www.facebook.com/TUMCA

留学生支援サークル @home

**団体概要** 楽しく国際交流支援・留学生支援することを目標に活動している団体です。みんなで協力して企画や留学生支援をし、団結もとても強いサークルです。

**活動内容** 外国人留學生と日本人学生の交流パーティ「IH」を企画、外国人留學生の仙台での生活のスタートのお手伝い、創意工夫あふれたイベントの企画・運営 等

✉athome.web.123@gmail.com ☎www.insc.tohoku.ac.jp/~athome

奨学金情報

東北大学の奨学金

東北大学基金 グローバル海外留学奨励賞

東北大学基金の事業として、海外の大学などに留学する学業成績が優秀な学生を表彰するとともに奨励金を支給します。

- 支援内容 準備金15万～30万円、奨学金月6～10万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：4～5月(夏秋留学開始)、9～10月中旬(冬春留学開始)
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課(▶P34)

国際共同学位取得支援制度

海外大学との大学院レベルにおける国際共同学位(ダブルディグリー、ジョイントディグリーなど)取得を奨励するための支援制度です。

- 支援内容 海外渡航旅費(実費)、奨学金月10～20万円 ※在籍課程・留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：2～3月、6～7月
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課(▶P34)

各部署の独自奨学金

海外留学をする学生を対象に、学部・研究科によっては独自の奨学金や支援金(旅費等)を支給する場合があります。 **問合せ先** 所属学部・研究科

政府・民間団体等の奨学金

トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム

[tobitate.jasso.go.jp/](http://tobitate.jasso.go.jp/)

日本政府と民間企業が協働で取り組む海外留学支援制度は、2020年までに1万人を海外に送り出す計画です。日本再興戦略と産業界からの意向を踏まえて実践的な留学への奨学金を提供しています。派遣留学生は、事前・事後研修や留学中の体験、メンタリングを通じ、海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリストとして育成されます。帰国後は支援企業とともにグローバル人材コミュニティを形成し日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

- 支援内容 渡航費10万又は20万円、奨学金月12～20万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：2～4月頃(8～3月留学開始)、10月頃(翌年4～10月留学開始)
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課(▶P34)

日本学生支援機構 海外留学支援制度(JASSO奨学金)

交換留学の推進と国際性を有する人材の育成を目的として、日本学生支援機構(JASSO)が支給する奨学金です。採用者には、留学期間中毎月奨学金が支給されます。奨学金受給者数および対象者は、対象プログラムごとに異なります。

- 支援内容 月6～10万円(留学先地域により異なる)
- 対象プログラム 交換留学、海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)、COLABS、海外体験プログラム、一部の部局主催プログラム等 **問合せ先** 留学生課(▶P34)

※対象プログラムの参加者のうち、条件を満たす学生に支給するものであり、学生から申請できるものではありません。  
※日本学生支援機構の貸与型奨学金「第一種奨学金」および「第二種奨学金」との併給が可能です。

各種奨学団体などによる奨学金

民間の財団などが、海外留学予定者に支給する奨学金は、特定の留学形態(大学院正規留学、交換留学、インターンシップなど)、国、期間、出身地に限定されている場合があります。応募に大学の推薦が必要な場合があります。大学院に募集案内がある場合は、グローバルラーニングセンターHPIにてお知らせします。

- 経団連グローバル人材育成スカラーシップ
- 過去募集例 ● 業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生
- TOMODACHI 住友商事奨学プログラム
- 大学院に募集案内がない場合は、各自で情報収集および応募が必要です。以下サイトなどを参照してください。
- 海外留学支援サイト ▶ 海外留学のための奨学金 [ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/](http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/)

トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム受給学生によるレポート

留学前後のケアも充実! トビタテだから得られる学びがあります。



農学研究科  
博士前期課程1年(留学開始時)

**多田 明日翔**さん

所属国 アルゼンチン  
所属大学 アルゼンチン乳酸菌研究所  
トゥクマン大学  
留学期間 2014年9月～12月



思いきってチャレンジすることが大切

せっかく大学院に進学するならたくさんの経験を積みたい。海外で活躍する研究者とともに研究生生活を送ってみようと考え、留学を決めました。研修や金銭面でのサポートの厚さに魅かれたことが「トビタテ! 留学JAPAN」に応募した理由です。留学期間中は、外国語でのゼミや習慣の違いといった壁にぶつかることもありますが、未知の世界に飛び込んだからこそその気づきも多くありました。研究に関する知識、手技はもちろんですが、「違う」ということを楽しむ力が身についたと感じています。また、トビタテの研修を通じて、留学前の不安や帰国後のギャップを解消できたことが、最大限の学びにつながったのではないかと思います。留学先の恩師、研究室のメンバー、そしてトビタテで出会った全国の留学仲間にはかけがえのない存在です。迷ったらチャレンジ! 一歩踏み出すことが大きな経験につながります。

学内の国際交流・留学サポートオフィス

グローバルラーニングセンター・留学生課

- ☎022-795-7820(交換留学他プログラム全般・語学学習および語学試験関係)
- ☎022-795-4818(SAP関係)
- ☎022-795-4817(TGL関係)
- ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.insc.tohoku.ac.jp



法学部・法学研究科 国際交流支援室

- 川内南キャンパス 法学部棟3階
- ☎022-795-3740
- ✉kokusai@law.tohoku.ac.jp
- 🌐www.law.tohoku.ac.jp/global/support/

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE)

- 川内南キャンパス 経済学研究科棟3階
- ☎022-795-7788
- ✉diee-keizai@econ.tohoku.ac.jp
- 🌐www.econ.tohoku.ac.jp/~KKS

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT)

- 北青葉山キャンパス 理学研究科合同A棟3階302号室
- ☎022-795-5829
- ✉direct@mail.sci.tohoku.ac.jp
- 🌐www.sci.tohoku.ac.jp/direct/

医学部・医学系研究科 国際交流支援室

- 星陵キャンパス 医学部1号館4階
- ☎022-718-5091
- ✉int-exchange@med.tohoku.ac.jp
- 🌐www.med.tohoku.ac.jp

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター(国際連携部門)

- 星陵キャンパス 臨床研究棟1階
- ☎022-717-8278
- ✉hong@m.tohoku.ac.jp
- 🌐www.dent.tohoku.ac.jp/field/liaison/03/index.html

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED)

- 青葉山キャンパス 工学研究科中央棟2階
- ☎022-795-7996
- ✉ieed-eng@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.ied.eng.tohoku.ac.jp

情報科学研究科 国際交流推進室

- 青葉山キャンパス 情報科学研究科棟3階
- ☎022-795-4691
- ✉e-segawa@m.tohoku.ac.jp
- 🌐www.is.tohoku.ac.jp/introduction/ilo/index.htm

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

# 東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGLプログラム)

東北大学の特長である柔軟で強固な「専門基礎力」に加え、国際化する社会において、さまざまな分野でグローバルに活躍するために必須となる「グローバル人材としての能力」(語学力・コミュニケーション力、国際教養力、行動力)をバランスよく身につけることを目指した**学部学生対象の登録制**プログラムです。



TGLプログラムでグローバルリーダーの認定を目指す場合は、必ず一度は海外研鑽の経験が必要です。本ガイドブック内に掲載されている海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)をはじめとした海外留学プログラムの多くが、TGLポイントの対象となっており、一部のプログラムではTGL学生が選考の際に優先される可能性があります。そのため、なるべく早い段階でのTGL登録をお勧めします。

詳しくは

**TGLプログラムパンフレット** ▶

およびグローバルラーニングセンターHPを  
参照してください。



東北大学 高度教養教育・学生支援機構  
グローバルラーニングセンター

(教育・学生支援部留学生課)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41

☎022-795-7820 ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp

[www.insc.tohoku.ac.jp](http://www.insc.tohoku.ac.jp)